上田市教育委員会 7 月定例会会議録

1　日　時

令和 8 年 7 月 29 日（水）　午後 3 時 00 分から午後 3 時 50 分まで

2　場　所

上田市役所　202・203 会議室

3　出席者

○　委　　員

教　育　長	酒 井　秀 樹
教育長職務代理者	安 達　永 眞
委　　員	萱 津　公 子
委　　員	荻 野　茶 々
委　　員	羽 田　憲 史

○　説　明　員

池田教育次長、菊池教育参事、橋詰教育総務課長、宮原教育施設整備室長、渡辺学校教育課長、佐藤生涯学習・文化財課長、中沢人権同和教育政策幹、和根崎上田城跡整備担当政策幹、小須田学校保健給食課長、田中中央公民館長、岩下上野が丘公民館長、黒岩丸子学校給食センター所長、金田上田図書館長、久保田丸子地域教育事務所長、宮島真田地域教育事務所長、小松武石地域教育事務所長

1　あいさつ

これより 7 月の教育委員会定例会を始める。

高原学習や宿泊学習、それから 4 月に中学校で行われた修学旅行など、小中学校にとっては泊を伴う大きな行事を終え、子どもたちも一回り成長して、先日 1 学期を大きな事故や怪我もなく無事に終了することができた。委員の皆様には陰ながらお支えいただきありがとうございました。

学校の様子などをホームページや学校だよりで見せていただくと、お蚕さんや中庭づくり、あるいは七夕飾りなどに夢中になる小学生の姿があり、また、平和学習や高齢者とのスポーツ交流でボッチャをしたり、地域のバス停を清掃しているような中学生の姿がある。このように、中学生目線で社会とどのように関わったらいいか、その繋がりを学んでいる姿を目のあたりにするにつけ、この子たちがどんなふうに今後上田市を作っていってくれるのか、そんなことを支えていく学校でありたいと思う。

子どもたちはこれで夏休みとなる。大きな事故もなく夏休みを無事終えて、2 学期がスタートできればと思う。7 月 8 月もよろしくお願いいたします。

2　協議事項

（1） 令和 7 年度教育行政に係る事務の点検及び評価について（教育総務課）

〇資料 1-1 により酒井教育長説明

1 の概要、2 の対象事業については記載のとおりになる。3 のスケジュールを御覧いただきたい。令和 7 年度の教育行政に係る事務の点検及び評価の実施については、教育委員の皆様には 3 月の定例会で御意見をいただいたところである。その後、教育委員の皆様を含めた上田市教育委員会の組織全体の事務の点検について、第三者委員会である上田市教育行政評価懇話会に諮問をし、教育委員会の取組について評価をお願いしたところである。

上田市教育行政評価懇話会の委員の皆様には全 3 回のうち 1 回目 2 回目の懇話会の中で非常に熱心な御議論をしていただき教育委員会の取組を評価、また、さまざまな角度から御意見をいただいた。その後委員の皆様からいただいた意見に対する教育委員会の考え方を事務局の方でもう一度まとめ、評価報告書（案）を作成し、3 回目の懇話会で委員の皆様から御意見をいただき、教育委員会としての考え方についてまとめ評価報告書（案）に修正した。

本日は、部長会議及び議会への評価報告書提出に向け最終的な御協議をお願いしたいというものである。

資料 1-2 冊子の令和 7 年度上田市教育行政に係る事務の点検及び評価報告書（案）の 5 ページを御覧いただきたい。尚、3 月の定例会において点検及び評価の内容に

ついては既に御覧いただいていることから、本日は評価報告書(案)の各シートについて表の下から 2 番目の枠、上田市の教育行政評価懇話会の委員からの意見に対する考え方を中心に御意見をいただき、このような内容でよいかどうか委員の皆様から御意見をいただきたいと思っている。時間の関係でシート 1 枚ずつではなくブロック単位で進めさせていただくので、事務局からの説明は割愛させていただく。

1「上田市教育支援プラン」の推進　についてである。5 ページから 11 ページまでの①から⑥までの意見に対する考え方について御意見をいただきたい。いかがか。

安達教育長職務代理

5 ページの意見に対する考え方の②であるが、これはとても大事なことだと思うので私は賛成である。今、どちらかというと授業のテクニックはみんな持っているのでうまく授業は流れていくが、こういう部分で、対面でお互いに思いを語り合って、悩みを語り合ってという共有が、授業力アップにはどうしても必要だと思うので②の部分について賛成である。

酒井教育長

続けていかがか。

先に進めさせていただく。

2　安全・安心な教育環境の整備　についてである。12 から 16 ページの①から⑤までの意見に対する考え方について御意見あればお願いしたい。

よろしいか。

3　文化遺産の保存・継承・活用　について、17 から 19 ページの意見に対する考え方について、御意見いただければと思う。

尚、19 ページ③の 3 郷土の歴史、文化、先人、偉人の業績等を知る機会の創出における、博物館に関する内容については、本日、山嵜市立博物館長が欠席のため御意見だけお受けし、質問に関しては改めて回答させていただく。

萱津委員

18 ページの意見に対する考え方で、「上田城址の歴史の副教材を活用する動きも出てきている」というのは大事だと思っている。保存のためにいろいろやっているのはわかるが、なぜやっているのか、子どものころから興味を持って地元のことを知る 1 つとして取り扱っていただけているのはとても大事なので、使える資料は是非学校と連携をして使っていただけたらと思う。

酒井教育長

続けて御意見あるか。よろしいか。

4　生涯学習の推進と学習環境の整備　について、20 から 25 ページの①から⑥までの意見に対する考え方についての御意見あればお願いしたい。

安達教育長職務代理

22 ページに関わってであるが、自治会からの人権同和教育推進委員の推薦がなくなり 1 年が終わり 2 年目に入ったと思う。今までその人たちが果たしてきた役目をする人が変わってきていると思うが、その影響や現状をどう捉えているか、今後の人権同和教育をどのように進めていくかについての辺りがもう少し書かれればいいなと思った。

中沢人権同和教育政策幹

人数的にはどうしても減ってきてしてしまっているが、取組についてはこんな学習がしたいと皆さんから手を挙げてもらう形に変わってきている。その中で自ら学びたい、活動したいという思いを持つ方々をサポートし、主体的に学習していただけるような取組を進めて行かなければいけないと考えている。

酒井教育長

続けて御意見あるか。

萱津委員

21 ページの「地域とともにある学校づくりの充実」であるが、学校訪問や自治会も含めた地域の住民会議などに出席して聞いていると、それぞれの学校にボランティアとして地域の人が入っていっており、とても良い取組だと思う。ただ、その取組が市内の他の学校にうまく届いているのかなと思うことがある。
できれば学校支援のプロジェクトの中で、ボランティアと子どもたちの交流などが他の学校や自治会の方々にも届くような工夫をしていただけるとありがたい。

ある自治会の住民会議に出席した際、そのような取組を知らない保護者の方が、自分たちも地域の子どもたちが通う学校への支援をしていきたいという発言をされていた。学校と地域がどのように繋がり子どもたちの支援をしているかが他の学校や地域にも届けられるような仕組みについて、今後の方針の中で検討していただけたらと感じた。

佐藤生涯学習・文化財課長

各学校との横の繋がりであるが、支援プロジェクトを行政の方で立ち上げており、その中でコミュニティルームというものがあり、見学会などを行い各学校と繋がりを求める機会はある。また、学校支援に携わっているボランティアの方々が各学校にいらっしゃるが、交流会も実際行っている。しかし、皆さんなかなか知らないというような場面も見受けられるので、今後の方針の中でその辺りを強く表現していきたい。

酒井教育長

　続けていかがか。

羽田委員

　23 ページの委員からの意見の中で②「子どもへの指導に加え、保護者や地域に対する啓発を期待します。」とあるが、その意見に対する考え方②の中に保護者への回答はあるが地域に対する啓発については触れられていないように思う。その点についても加えた方がいいのではないかと感じた。

佐藤生涯学習・文化財課長

　学校を中心とした取組だけでなく、地域の青少年の学習活動の支援なども行っているので、その中で地域の方への啓発を考えていきたい。

酒井教育長

　続けていかがか。

安達教育長職務代理

　4-⑥の図書館サービスの充実であるが、第三次上田市図書館基本構想ができて、その中に位置づいている「子ども読書活動の支援」というところの「子ども読書活動推進計画」については、どちらかというと専門家会議みたいになってしまうと思うが、今後の方針のところに書かれている、「家庭、学校と連携して」という辺りのところで、学校で実際に子どもと接して一生懸命やってくださっている司書の方たちと繋がってアイデアをもらったりしながら策定できればいいなと思った。

金田上田図書館長

　今年度、この「子ども読書活動推進計画」というものの策定を進めているところである。学校図書館の司書の方ももちろんであるが、学校の先生方、またこの時期中学生が職場体験で図書館に大勢いらっしゃるので、子どもたち自身の意見も聞きながら進めている。さらに、ボランティアの方々も含め、いろいろな関係者とも連携しながら計画づくりを進めていきたいと考えている。

酒井教育長

　続けていかがか。

　それでは全体を通してページは区切らないので、言い落したことがあればお願いしたい。よろしいか。

　本日いただいた御意見を参考に資料の見直しを図り、令和 7 年度の事業評価のまとめとさせていただく。その後について、法に基づき公表することが義務付けられているので 8 月に市役所庁内の部長会議に諮り、9 月の市議会で報告をし、10 月に

はホームページで公表して参りたいと考えている。今後の進め方についてはよろしいか。

〇全員了承

(2) 史跡上田城跡整備専門家会議委員の委嘱について(生涯学習・文化財課)

〇資料2により和根崎上田城跡整備担当政策幹説明

史跡上田城跡整備専門家会議委員の委嘱について御承認をお願いしたい。

任務であるが、1に書かれているとおりであるが、現状では上田城の櫓の復元及び武者だまりの整備等について御意見を賜っている段階である。

委嘱の期間は令和8年8月1日から令和10年7月31日までの2年間である。

名簿が3に記載してあるが、10名の方にお願いをしたいと考えている。今回新たにお願いしたい、名簿の上から4番目、冨田 和気夫さん　石川県金沢城調査研究所所長は、現役の県の職員の方である。今回お願いする一番の目的は備考に書いてあるとおり史跡整備の御指導をいただきたいということ。御承知の委員の方もいらっしゃると思うが、金沢城については近年非常に積極的に史跡整備を進めている状況であり、今回退任される方がたまたま前回文化庁で上田城の担当の調査官をされていた方だったので、同じような形で引続き史跡整備の御指導をいただけないかというような視点で人選を進めたところ、冨田さんが良いのではないかということで今回御承認いただきたくお諮りしたところである。冨田さんに関しては、御本人もおっしゃっていたが現場主義の方であるので、この上田城の整備についてもかなりお力添えいただけるのではないかと考えている。

酒井教育長

ただいまの件について委員の皆様から御意見等あるか。

安達教育長職務代理

平成6年に出ている上田城跡保存活用計画という厚い本があったが、あそこのメンバーとあの本で言えば同じことだとすると、任務のところにある保存整備の部分は本当に専門家ばかりである。外部から観光に来た人は本丸がない寂しさや不満などがあると思うが、実際上田に住む者にとってやはりあそこは自分たちのある意味誇りにできる場所であり、そういう意味での活用という部分をもう少し打ち出そうと思ったとき、これは歴史的にも城郭史的にも専門の方ばかりだと思う。もう少し市民サイドというような方がいらっしゃってもいいなと思った。

和根崎上田城跡整備担当政策幹

今、安達委員から御指摘のあった点であるが、この専門家会議の前身となる会議があり、そちらの方では例えば真田神社であるとか、中央地域協議会の代表の方に

入っていただき、そのようなメンバーで検討を進めていたときもあった。ただ、全国的に、特に先ほど御指摘いただいたとおり、保存活用計画ができてから、活用という視点での指導ということで、専門家の方々の中にも常にそういう視点で自分の専門的分野を扱われている方が増えてきている。

この専門家会議は今回4期目になるわけであるが、一番下から2番目の吉田百合子先生は東京外大の先生だった方で専門は城郭・古文書ということで書いてあるが、例えばこの先生の場合は、城郭の中に現状で生えている樹木であるとか、あるいは一番下の渡辺陽子先生は、建築史、特に古建築というような視点で入っていただいているが防災公園という視点での史跡整備などに精通している先生である。今回の冨田さんは金沢城公園という視点もあるが、安達委員から御指摘いただいた部分については、現在の公園整備の中で、昔から史跡整備と公園整備は両立しない、「水と油」みたいな中で取組んできたが、都市計画の分野でも、史跡でも市民の皆様に親しまれるような史跡整備、イコール「公園」という形の中で御意見くださる先生も増えてきているので、前回の委員の交代の時に筑波大学の野中勝利先生に入っていただき、活用についての御意見を賜っている状況である。

ただ、安達委員のおっしゃるとおり、武者だまりや櫓の復元が具体的な状況になってきているので、専門家会議という名前で招集をかけているが、今後、その活用といった部分にも十分目を向けていけるような体制づくりにも注意しながら会議を進めて参りたい。

酒井教育長

続けていかがか。よろしいか。

それではこの内容で進めて行くということでよろしいか。

〇全員了承

3　報告事項

(1)うえJOYクラブ(上田地域クラブ)の設立状況及び現状報告(学校教育課)

〇資料3により渡辺学校教育課長説明

令和8先行実施「うえJOYクラブ・準うえJOYクラブ」一覧及び今後の見通しである。昨年度からクラブの募集を始めており、地域クラブいわゆるうえJOYクラブについては現在64クラブ、それから登録まではしないが中学生を受け入れていただけるという準うえJOYクラブが53クラブという状況である。また長和町、青木村との合同の地域のクラブが3クラブということで、現在120のクラブが登録していただけたという状況である。昨年度までの地域の学校の部活動が130クラブという状況なので、ある程度新しい活動も含めて体制の充実が進んできている。

一番右側の欄に既存部活動の受皿未定部数というところがあるが、まず陸上については種目が様々あり、長距離だけではなく短距離やフィールド種目を希望するお

子さんたちの受皿作りが難しいという課題がある。また、下の方に行くと 8 という数字がある。美術であるが、今中学生で美術部に入るお子さんは非常に多くなってきている状況であるが、本格的に絵を描くというような思いの方は多くなく、例えば東信美術会で受入れをするといってもどちらかというとソフトなイラストを描いたりといったニーズがあるところもあり、その受皿づくりがこれからというところである。また、吹奏楽については、信州国際音楽村の方で積極的に動いていただいており、ある程度各学校単位ぐらいで活動ができるような体制を作っていくということで進んでいる。

3 年生が夏の大会で一区切りというところもあり、これから秋また 4 月に向かってクラウド化が少し進んで行くと思うので、各登録団体の方との相談等しながら準備を進めて行きたいと考えている。

酒井教育長

この件について御意見あるか。

安達教育長職務代理

本当に御苦労していただき成果を上げていただいてありがたく思う。というのは、今日の評価報告書の 8 ページにはクラブ 55、45 と書いてあるが、今になって出てきた数では 64、53 と増えている。本当に努力してくださっていることに感謝である。ありがとうございます。

酒井教育長

続けていかがか。

補足であるが、美術部の方は私も気になって聞いてみたが、受入団体の方で声をかけるが、学校から離れて美術の活動をするという気持ちになっていないようで、調整が今後必要と思っている。いずれにしても、このような形になっていて、当初の目的である、今ある活動が今後うえ JOY クラブになったらなくなってしまった、ということがないようにしていこう、ということで行っているので引続きお力をお貸しいただければと思う。

〇全員了承

(2)（仮称)上田市オープンドアスクールの進捗状況（学校教育課）

〇資料 4 により渡辺学校教育課長説明

（仮称)上田市オープンドアスクールの進捗状況と、今年度 6 月 25 日に検討会議を行ったので報告する。

まず、整備事業の進捗状況であるが、現在校舎の設計、整備、工事監理、また外構や既存建物の解体、完成後の維持管理というところを予算として見込んでおり、

6 月市議会定例会において議決をいただいた。予算額は総額で 8 億 3000 万円余という金額をお認めいただいた。

今後の発注のスケジュール、方法等については様々な解体、設計、施工、維持管理を一括発注し、民間事業者の方で様々なデザインをしたものを提案していただき、完成したものについて市が買い取るという方式で準備を進めている。こちらについては、新しい学校ということで、民間の蓄積するノウハウ、技術力を有効活用したいということ、それから長期的な維持管理を効率的かつ経済的な事業の実施、財政負担の平準化を目的とし、今回この手法で進めており、スケジュールとしては現在プロポーザルの公募ということで事業者の募集を行ったところである。今後 8 月中に審査を行い 9 月議会で議決をいただき事業に着手するというスケジュールになる。

今年度設計・施工に入り来年度中に完成し、令和 10 年 4 月開校に向けて進めて行くという段取りである。教育課程の編成や学校運営方針については、今年度特に力を入れて検討していきたい。

続いて 3 の設置検討会議の会議概要ということで 6 月 25 日に第 1 回を開催した。今年度初めてということもあるので改めて委員の皆さんに開校に向けた想い、抱負を語っていただき、スケジュール等についての説明、今後詳細な事業内容等を検討していくうえで、日頃対象者の方と関わっている支援者の方に対するヒアリングを行って学校の運営に生かしていきたいということでお話をさせていただき、また、教育課程編成に係る構想（案）をお示しした。

教育課程編成に係る構想（案）については、今後の協議・会議の中で、どんな形に組み替えていくのか、こんなものを入れたらどうかという御意見をいただきながら成案にしていきたいと考えている。

今後の会議日程として、今後 8 月 7 日以降 4 回の中で、設計の部分、学校の運営内容等中身の部分の御意見をいただき進めていく。

以上である。

酒井教育長

ただいまの件について御意見あるか。よろしいか。

報告事項について事務局からの説明は以上となる。

続いて(3)から(10)までは説明はないが委員の皆様から御意見あればお願いしたい。よろしいか。

〇全員了承

4　その他

佐藤生涯学習・文化財課長

お手元にチラシをお配りした。「上田城と城主たち」ということで、上田市立博物館特別展で 9 月 3 日から 11 月 10 日まで開催する。裏面に展示物等が掲載されているが、ぜひお越しいただければと思う。よろしくお願いします。

酒井教育長

今の件についてよろしいか。

事務局から何か御意見御提案あるか。

委員の皆様から何かあるか。

それでは以上で 7 月の定例会を終了する。

終了